

田市立南大谷小学校

**児童・生徒の現状・課題**

- ・自分の考えを発信する際に自信がもてない。自分の意見の発表などに消極的な面がある。
- ・記述式の回答には、無回答であったり、考えがまとまらなかったりするなど消極的である。
- ・難しい課題に向かうと、最後まで取り組むことができず諦める様子が見られる。

**学び続ける力を育むための重点目標**

自分の考えをもち、他者とのかわりの中で学ぶことで、これからの学びを前向きにとらえることができる。

**児童生徒調査**

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①自分から進んで計画を立てて学習している。	(中) 85.2 (高) 79.7	90 85	
②学習した内容や方法、自分の力をどれだけ伸ばすことができたかなど振り返ることができる。	(中) 7 9.2 (高) 7 5.6	85 80	

**教員調査**

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①授業では、学習課題や学習過程等、児童が学び方を選択する場面を設定している。	70	75	
②授業では児童が選択した学びを、相互で共有したり、見直し・修正したりする場面を設定している	61.8	75	

**具体的な手だて①**

学級全体のめあてを把握させ、課題解決とそれに要する時間について、計画を立てたり見直しをもったりする時間を設ける。

**具体的な手だて②**

以下のような機会を設ける。

- ・友達と一緒に考える。
- ・友達と情報交換をする。
- ・自分の考えを再構築する。
- ・自身の学びを発表したり書いたりして表現する。

**具体的な手だて③**

自身の学びを振り返り、分かったことともっと知りたいことについて記録する時間を設ける。その際、ICTを活用して、振り返りを共有できるようにする。

**校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫**

- ・OJTや校内研究で、よりよい授業提案をし、日々の授業力向上に努める。
- ・職員室後方掲示板や図書コーナーを活用し、授業の工夫や手立ての共有を図る。

**総括(5月)** 全国学力学習状況調査の結果を見ると、特に記述の問題において無回答の割合がやや多く、最後まで粘り強く取り組むという力が弱い傾向にある。自分の考えに自信がなかったり、必要な知識が十分に身に付いていなかったりする状況が見られる。そこで、日々の授業において、児童が学習の目標に対して自分の考えをもたせること、それを友達と交流させること、自分の考えを広げたり深めたりすること、自分の学習を振り返ること、以上の4点を意図的に設定する。

**総括(1月)**